

平成30年9月13日会議概要

第1 日時

平成30年9月13日（木）午前9時00分から午前11時55分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、警察学校長、総務部次長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(1) 下ブロック署長会議

(渡部委員) 9月6日、下ブロック署長会議に出席しました。全ブロック共通議題は、「優秀な人材の確保と若手警察官育成の現状と課題について」、ブロック別議題は、「留置管理業務における指揮管理体制の確立と看守勤務員等の士気高揚方策について」であり、各署長からの報告のほか、本部長、総務部長及び警務部長の総括が行われました。各署とも署長の陣頭指揮の下、人心の掌握や問題点の解決、職場環境の改善などに向けて熱心に取り組んでおられると感じました。

私からの講評としては、働き方改革に関して、勤務時間や勤務日数、残業時間など、「量」として捉えることはもちろん重要ですが、使命感などに基づく働き方として、「質」をどう高めていくのかなども大切であることを申し上げました。

(2) 丹波ブロック署長会議

(平林委員) 9月11日に丹波ブロック署長会議に出席しました。ブロック別議題は、「大規模災害に備えた諸対策の推進について」でした。

丹波ブロックは、市内ブロックとは少し異なり、山間部やUPZ圏（緊急時防護措置準備区域）内といった市内にはない状況があり、4警察署が異なる条件の下、それぞれ最近の体験に基づいた災害対策を報告されました。

渡部委員からも報告のあった全ブロック共通議題については、各警察署とも時代背景や若者の気質等から考えて、人材の確保や育成は難しいというのが共通認識であり、丹波ブロックが過疎地域であることから、学生に対する勸奨活動にも限度があるとの報告がありました。

私からの講評としては、災害時、住民は警察の力を大いに頼りにしているので、被災者の心に寄り添う警察であって欲しいことや、人材面では若者の特性を十分に理解した上で、働き方改革に沿った警察の魅力の創出等に継続的に取り組んでいただきたいと申し上げました。

(3) 非違事案防止の講話

(石川委員長) 9月11日に警察学校で初任科、初任補修科生等を対象として、「コミュニケーション力とは」というテーマで講話をしました。コミュニケーションの目的と

は何なのか、注意点はどこにあるのかについて話をするとともに、ミスコミュニケーションの一つであるパワハラ、セクハラ等のハラスメントの構図と、どこに気を付ければ良いのか、また、組織風土についても触れました。

なぜ私がこの話をしたかという、初任科生等は京都府警の土壌を変える新しい土であると考えているからです。彼らはまもなく京都府警という土壌に入り、潜在的なパワハラ・セクハラ等の被害者となる可能性があり、また、10年、15年後には、彼らが幹部になって潜在的な加害者となる可能性があります。今のうちに注意する点やコミュニケーションの本質というものを彼らに理解してもらえば、長い目で見れば土壌改良の一端を担うことができるのではないかと思います。意が通じたかどうかはわかりませんが、何か感じ取ってもらって、今後の警察人生に役立ててもらえればと思います。

2 報告事項

(1) 重傷ひき逃げ事件の検挙について

交通部長から、下京警察署及び交通捜査課は、平成30年6月5日午後0時6分ころ京都市下京区四条西洞院交差点において発生した自転車による重傷ひき逃げ事件の被疑者を、同年8月27日に重過失傷害及び道路交通法違反（ひき逃げ）で、また、八幡警察署及び交通捜査課は、平成30年8月2日午前4時33分ころ京都府八幡市下奈良（府道八幡木津線）において発生したスクーターによる重傷ひき逃げ事件の被疑者を、同年9月5日に過失運転致傷及び道路交通法違反（ひき逃げ）でそれぞれ逮捕した旨の報告があった。

(2) 未来警察創造プロジェクト班の業務進捗状況等について

京都市警察部長（治安対策官）から、ICT（情報通信技術）・AI（人工知能）等の先進技術の飛躍的進展と社会への実用化が見込まれる中、今後の地域社会の在り方や安全・安心の在り方を見据えた「10年後の京都府警察の在り方」について部門横断的な検討を進めるため、平成30年3月に設置された未来警察創造プロジェクト班の業務の進捗状況について報告があった。

石川委員長から、「2045年問題に向け、2020年から2030年には、その前ぶれとして大幅な変化が見込まれ、それに伴って発生する問題の解決に向けて対策を進めていただきたい。」旨の発言があった。

(3) 初任科第 246期（短期課程）卒業式の実施について

警察学校長から、平成30年9月28日、警察学校で実施する初任科第 246期生の卒業式の概要等について報告があった。

3 本部長報告

本部長から、

- 9月6日に開催された下ブロック署長会議では、渡部委員から働き方改革における「質」の確保について講評をいただき、9月11日に開催された丹波ブロック署長会議では、平林委員から若者の特性を理解した人材の育成について講評をいただいた。今後の施策に生かしてまいりたい。
- 石川委員長から、「コミュニケーション力とは」と題して、非違事案防止のみならず京都府警の土壌をより良くするために必要な知識についても講話していただいた。初任科・初任補修科生だけではなく、組織全体の業務に生かしていきたいと思う。
- 交通事故については、事故分析に基づいて諸対策を講じることにより、交通事故発生

件数が減少している状況にある。また、これに伴いマンパワーの負担も減少し、別の事件・事故への対応も迅速になるなど良いサイクルになっている。今後ともこれを継続していく方針である。

- 未来警察創造プロジェクトについて。先々を見通すことは困難が伴う。例えば、10年前にはスマートフォンが現在のように普及し、機能がこれほど向上するとは予想がつかなかった。今後、AIを利用していくことは、いろいろな面でハードルが高いが、できる限り業務に活用していきたい。
- 初任科の卒業式に関連して、警察学校に入校後、自ら「適性が無い」という理由で入校生が辞めることがあるが、採用前、採用後にかかわらず、京都府警としては大きな労力を費やしているので、可能な限り、その点を考慮した採用を行うなど工夫をしていきたい。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

(1) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、21件の行政処分を決定した。

(2) 平成6年京都府公安委員会告示第62号及び平成20年京都府公安委員会告示第22号の一部改正について

運転免許試験課調査官から、指定自動車教習所の合併に伴う商号及び代表者の変更、また、人事異動に伴う指定自動車教習所の代表者の変更により、指定自動車教習所指定申請書記載事項変更届が提出されたことから、平成6年京都府公安委員会告示第62号及び平成20年京都府公安委員会告示第22号の一部改正を行うことについて報告があり、審議の上、告示の一部改正を了承した。

2 報告事項

(1) 平成30年上半期における被疑者取調べ監督の実施状況について

総務課取調べ監督室長から、平成30年上半期の被疑者取調べ監督の実施状況等について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。